

環境活動レポート

2017年度版

(2017年1月から2017年12月まで)



株式会社 アサヒリソース

発行 2018年 3月31日

改訂 2018年11月15日

①組織の概要

1. 商号 株式会社 アサヒリソース
- 代表者 代表取締役 安藤 哲也
役員 取締役 小野 南
2. 所在地 本 社： 〒239-0316
神奈川県横須賀市久里浜2丁目25番9-405号
(本社は登録のみ：業務に使用せず)
- 津久井事業所： 〒239-0843
神奈川県横須賀市津久井2丁目1002番
- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 敷地 | コンクリート床 | 330.57㎡ |
| アルミ定置型坩堝炉 | | 4.06㎡ |
| 液物タンク | 危険物(灯油) | 0.225㎡ |
3. 設立 平成 元年 5月 15日
4. 資本金 540万円
5. 事業活動 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業, アルミニウムインゴットの製造
並びに一般貨物自動車運送事業
6. 従業員数 6 名

7. 施設の概要

1) 車 両

普通貨物	自家用	ロ ン グ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	3,000 kg	運搬品目	別記
普通特殊	自家用	塵 芥 車	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	事業用	バ ン	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
普通貨物	事業用	キャブオーバ	最大積載量	1,000 kg	運転品目	別記
軽貨物	自家用	ダ ン プ	最大積載量	350 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記
小型特殊	自家用	フォークリフト	最大積載量	2,000 kg	運搬品目	別記

2) 施 設

軽合金坩堝炉	炉形式	S E P-200
30 トンプレス機	形 式	S N P-30
8 トンプレス機	形 式	5 0 - 5 0 0
溶 融 機	形 式	SMN-0030A

環境保全対策

収集運搬容器は飛散・流出しないよう密閉ドラム及びポリタンクを使用
 ロープ・シート・ネットの使用により固形廃棄物の散乱に対処
 悪臭・振動・騒音など生活環境保全上支障がないような措置を行う

8. 運搬品目及び取扱処理量

平成29年

1月～12月

行政資源回収	
新聞	639,605 kg
段ボール	287,660 kg
雑誌	475,380 kg
ボロ	179,260 kg
一升瓶	27 kg
ビール瓶	0 kg
P箱	0 kg
アルミニウム	6,118 kg
鉄	71,075 kg

産業廃棄物	
混合	26,280 kg
紙くず	118,790 kg
廃プラスチック	3,780 m ³
がれき	0 kg
金属くず	8,590 kg

一般廃棄物	
燃せるゴミ	0 kg
容器包装	0 kg
不燃ごみ	0 kg
紙類※	6,000 kg
金属類※	2,400 kg
缶ビンペットボトル※	0 kg

※紙・金属・缶・ペットボトル類はリサイクルに供します

9. 許可の内容

1) 産業廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
神奈川県	1401110402	平成24年10月23日	平成31年9月2日

・事業の範囲 事業の区分

収集運搬(積替・保管を除く)

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類

※営業の範囲は、横須賀市を除く神奈川県的区域。

※取り扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第05810110402号	平成29年5月15日	平成34年5月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を含む

保管面積	保管上限	高さ
8.89㎡	15.80m ³	2.40m

・産業廃棄物の種類

廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)

2) 一般廃棄物収集運搬業

市・県名	許可番号	許可年月日	許可の有効年月日
横須賀市	第60号	平成26年6月15日	平成30年6月14日

・事業の範囲 事業の区分

積み替え又は保管を除く

・廃棄物の種類

一般廃棄物(ごみ)

10. 決算売上高 年1回 12月31日

2015年度 62,273千円

2016年度 58,045千円

2017年度 74,050千円

11. 収集運搬料金

基本料金 450袋 1枚 700円

量、距離、種類によりますので、お問い合わせください。

046-847-1366 営業担当：安藤

12. 環境管理責任者 総責任者 安藤 哲也

株式会社アサヒリソース 組織図

平成30年3月30日

代表取締役
安藤 哲也

環境管理総責任者
安藤 哲也

環境目標及び活動計画の策定
環境活動レポートの作成
環境関連法規等の遵守評価

事務局(苦情受付窓口)
小野 南

管理責任者の補佐業務
環境文書及び記録の作成・管理

第一事業部

一般・産業廃棄物収集運搬事業
廃家電収集運搬事業

小川 洋平
環境担当者
小川 洋平
使用車両
3 トンダンプ
2 トンバントラック
1 トントラック

第二事業部

海外輸出関連事業
アルミ溶解事業

龍華 健人
環境担当者
龍華 健人
使用車両
軽ダンプ

第三事業部

横須賀市町内会資源回収事業
横須賀市資源回収協同組合事業

藤田 幸男
環境担当者
藤田 幸男
使用車両
2 トンパッカー 2 トンロング
2 トンダンプ
軽トラック

②認証対象範囲

1) 業務範囲

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業, アルミニウムインゴットの製造並びに一般貨物自動車運送事業

2) 対象事業拠点

津久井事業所 横須賀市津久井2-1002

③環境方針

株式会社アサヒリソース 環境方針

基本理念

株式会社アサヒリソースは、当社の基幹業務である産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬・古紙・鉄・非鉄金属リサイクルを通じて限りある天然資源の再資源化を目指すことによって、次世代に豊かで美しい地球を残すため地球環境保護に貢献いたします。

環境方針

- (1) 環境マネジメントシステムの構築と改善に取り組みます。
- (2) 環境関連の法令、条例、その他の要求事項を順守し、環境保護に取り組みます。
- (3) 事業活動において、扱う廃棄物の100%資源化を目指します。
- (4) 業務全般において省エネルギー及び地球温暖化物質などの排出削減に努め、汚染の予防を推進します。
- (5) 環境教育を通して社員の環境意識の向上を図り、全員が環境活動に取り組みます。

※環境方針は文書化し全社員に周知徹底するとともに、定期的に見直すと同時にホームページ等により社外に広く公開します。

2017年6月1日

株式会社 アサヒリソース

代表取締役 安藤 哲也

④環境目標

環境負荷項目		単位	2015年度実績 (基準年)	2018年度 中期目標	2017年度 目標
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh /百万円	7,940/62 百万円 =128 kWh/百万円	2015年度売上高比 3%削減 124.2 kWh/百万円	2015年度売上高比 2%削減 125.4 kWh/百万円
	電力（動力）削減	kWh /百万円	1,246/62 百万円 =20.1 kWh/百万円	2015年度売上高比 3%削減 19.5 kWh/百万円	2015年度売上高比 2%削減 19.7 kWh/百万円
	灯油削減	L/百万円	144/62 百万円 =26.6 L/百万円	2015年度売上高比 3%削減 25.8 L/百万円	2015年度売上高比 2%削減 26.1 L/百万円
	ガソリン削減	L/百万円	5,255/62 百万円 =84.7 L/百万円	2015年度売上高比 3%削減 82.2 L/百万円	2015年度売上高比 2%削減 83.0 L/百万円
	軽油削減	L/百万円	15,522/62 百万円 =250.4 L/百万円	2015年度売上高比 3%削減 242.9 L/百万円	2015年度売上高比 2%削減 245.4 L/百万円
	二酸化炭素削減	t-co ₂ / 百万円	57.93/62 百万円 =0.93 t/百万円	2015年度売上高比 3%削減 0.90 t/百万円	2015年度売上高比 2%削減 0.91 t/百万円
水	水道使用量削減	m ³	46.40 m ³	2015年度比同等 (±3%) 45 m³	2015年度比同等(±3%) 46 m³
廃棄物	自社が排出する一般廃棄物削減	Kg /百万円	33 kg	2015年度比同等 (±3%) 32 kg	2015年度比同等(±3%) 31 kg
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚 /百万円	13,856/62 百万円 =223 枚/百万円	2015年度売上高比 3%削減 216 枚/百万円	2015年度売上高比同等 2%削減 218 枚/百万円
	グリーン購入の推進		グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進
産業廃棄物	回収産業廃棄物中の再資源化量の増加	%	144,175/160,530kg × 100 = 89	89	89

※購入電力の排出係数 0.000505 t-co₂/kWh(平成26年実績)

⑤環境活動計画

環境負荷項目		単位	2017 年度活動計画	担当
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh/ 百万円	昼休み時の事務所消灯の徹底	小野
	電力（動力）削減	kWh/ 百万円	プレス機・溶融機の稼働時間の把握による消費電力の割り出し	小川
	灯油削減	L/ 百万円	アルミ溶鉱炉のデータ把握・評価指標の検討、設定	龍華
	ガソリン削減	L/ 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月各車両の燃費データを報告、目標値を設定 ・各自車両の燃費向上方法を習得する 	小川
	軽油削減	L/ 百万円		<ul style="list-style-type: none"> ・年1回エコ安全運転講習会の開催
	二酸化炭素削減	t-co ₂ / 百万円	上記活動によって削減	
水	水道使用量削減	m ³	洗車時の水の使用方法など節水意識の再確認、蛇口等の水漏れ点検	小川
廃棄物	自社が排出する廃棄物削減	一般廃棄物	自社で発生した廃棄物の分別徹底の再確認をし自社リサイクルルートへ	小川
		産業廃棄物		小川
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚/ 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷及び縮小印刷等の有効利用 ・使用済み紙は自社リサイクルルートへ ・メール利用率のアップ 	小野
	グリーン購入の推進		コピー用紙及び文房具の購入	小野
	非常事態訓練		2016 年 9 月頃実施	小川
産業廃棄物	回収産業廃棄物中の再資源化量の増加	%	産業廃棄物の分別の徹底	小川

⑥環境目標の実績

2015年1月から2015年12月までの同時期と比較して目標の-2%削減が達成できた場合には○、目標の1%削減が出来なかった場合または環境活動計画で設定した目標を達成できなかった場合には×

環境負荷項目		単位	2015年度実績 (基準年)	2018年度 中期目標	2017年度 目標	2017年度 実績	結果
地球温暖化	電力（一般）削減	kWh/ 百万円	7,940/62 百万円 =128 kWh/百万円	2015年度売上高比 3%削減 124.2 kWh/百万円	2015年度売上高比 2%削減 125.4 kWh/百万円	96.5 kWh/ 百万円	○
	電力（動力）削減	kWh/ 百万円	1,246/62 百万円 =20.1 kWh/百万円	2015年度売上高比 3%削減 19.5 kWh/百万円	2015年度売上高 比2%削減 19.7 kWh/百万円	7.7 kWh/ 百万円	○
	灯油削減	L/ 百万円	144/62 百万円 =26.6 L/百万円	2015年度売上高比 3%削減 25.8 L/百万円	2015年度売上高 比2%削減 26.1 L/百万円	25.2 L/ 百万円	○
	ガソリン削減	L/ 百万円	5,255/62 百万円 =84.7 L/百万円	2015年度売上高比 3%削減 82.2 L/百万円	2015年度売上高 比2%削減 83.0 L/百万円	118.2L/ 百万円	×
	軽油削減	L/ 百万円	15,522/62 百万円 =250.4 L/百万円	2015年度売上高比 3%削減 242.9 L/百万円	2015年度売上高 比2%削減 245.4 L/百万円	198.2 L/ 百万円	○
	二酸化炭素削減	t- co ₂ /百 万円	57.93/62 百万円 =0.93 t/百万円	2015年度売上高比 3%削減 0.90 t/百万円	2015年度売上高 比2%削減 0.91 t/百万円	0.92 t/ 百万円	×
水	水道削減	m ³	46.40 m ³	2015年度比同等 (±3%) 45 m³	2015年度比同等 (±3%) 46 m³	41.9 m³	○
廃棄物	自社が排出する一般廃棄物削減	kg/ 百万円	33 kg	2015年度比同等 (±3%) 32 kg	2015年度比同等 (±3%) 31 kg	33 kg	×
資源	コピー用紙の削減及び再生紙使用	枚/ 百万円	13,856/62 百万円 =223 枚/百万円	2015年度売上高比 2%削減 216 枚/百万円	2015年度売上高 比1%削減 218 枚/百万円	248 枚/ 百万円	×
	グリーン購入の推進		—	グリーン購入の推進	グリーン購入の推進	グリーンマークを確認	○
産業廃棄物	回収産業廃棄物中の再資源化量の増加	%	144,175/160,530kg × 100 = 89	89	89	82	×
非常事態訓練の実施				年1回実施	9月頃実施予定	9月30日実施	○

⑦環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容

1. 環境活動計画の取組結果とその評価

- ・2017年1月から12月までの評価

今年は環境を取り巻く事業はよりグローバル化が進み国内のみの視野では事業として成り立たない状況になりました。他に活路を見出そうとした矢先、中国の廃棄物輸入削減政策は弊社をはじめ同じ分野の企業にとり由々しき問題として今なお立ちは大かっています。そんな中での環境活動計画への取り組みの中、回収産業廃棄物の再資源化は非常に難問となりつつあります。今まで資源化できていたものがごみとして廃棄しなければならない事態をどう乗り越えていくかは来年度の最重要課題になるでしょう。しかし、廃棄物収集運搬事業を営み限りこの難局を打破することが事業発展に直接つながる局面にあることを肝に銘じなければなりません。

- ・電力の一般使用料は、残業時間の縮小を徹底したため照明等に使用する電力が減少したことが削減目標達成につながった。
- ・動力も稼働時間の縮小および効率化が目標達成に貢献した。
- ・今年度はアルミの溶解事業の稼働がほとんどなかったため燃料である「灯油使用量」が去年に比べ大幅に減少した。
- ・ガソリンと軽油に関しては事業の種類及び稼働ルートの細部にわたる検証により軽油車とガソリン車の配置に手直しを加えたため一見ガソリンの使用量が増えたように感じるが軽油の削減値と相殺してみると努力の跡が見られる。
- ・廃棄物に関しては、小口の新事業により分別不可能な不燃廃棄物が増加し資源化が著しく困難になった上に加え、中国による廃棄物輸出の削減策が大きく影を落とすこととなった。次年度はより慎重に状況を見守っていきたい。
- ・水の使用量は今後も同様に取り組むこととする。
再生紙の使用等は昨年同様、注文書、発注書に個人情報があり、すべてシュレッダー処分が義務付けられているため以前のように裏紙としての使用が不可能となり使用枚数の増加につながった。

2. 次年度(2018年1月から12月まで)の取組内容

環境負荷項目		単位	2015年度実績 (基準年)	2019年度 中期目標	2018年度 単年度目標
地球 温 暖 化	電力(一般)削減	kWh/ 百万円	128.1	2015年度売上高比 4%削減 123	2015年度売上高比 3%削減
	電力(動力)削減	kWh/ 百万円	20.1	2015年度売上高比 4%削減 19.3	2015年度売上高比 3%削減
	灯油削減	L/百万円	26.6	2015年度売上高比 4%削減 25.5	2015年度売上高比 3%削減
	ガソリン削減	L/百万円	84.7	2015年度売上高比 4%削減 82.2	2015年度売上高比 3%削減
	軽油削減	L/百万円	250.4	2015年度売上高比 4%削減 240.4	2015年度売上高比 3%削減
	二酸化炭素削減	t-CO2/ 百万円	0.93	2015年度売上高比 4%削減 0.892	2015年度売上高比 3%削減
水	水道使用量削減	m ³	46.4	2015年度比同等(-3%) 44.5	
廃 棄 物	自社が排出する一般 廃棄物削減	kg	33	2015年度比同等(-3%) 32	
資 源	コピー用紙の削減	枚/百万円	223	2015年度売上高比 4%削減 214.08	2015年度売上高比 3%削減
	グリーン購入の推進	-	グリーンマー クを確認	グリーンマークを確認	グリーンマークを確認
産 業 廃 棄 物	回収産業廃棄物中の 再資源化量の増加	%	89	89	89
非常事態訓練の実施			年1回実施		

⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

(株)アサヒリソース環境関連法規一覧		見直し・改訂時		遵守確認・評価			
		承認	作成	承認	評価		
							
		作成：23年5月30日 見直し改定日：30年3月30日 遵守状況：30年3月30日					
主な法規制	法律の内容	当社該当事項	管理部署 責任者	遵守状況 確認			
廃棄物処理法	自社発生廃棄物	自らの責任において処理する	藤田	○			
	産業廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間 5年	安藤	○			
	一般廃棄物収集運搬業	業許可申請・許可の更新期間 2年	安藤	○			
	産業廃棄物管理票	保存期間5年	安藤	○			
振動規制法・ 騒音規制法	指定地域内の工場等における事業活動や建設 工事に伴う騒音(振動)を規制するため、騒音 (振動)を発生させる特定施設の事前届出や建 設作業の事前届出、規制基準の遵守等を定め ている。	法の指定するして地域内に当 たらないため該当しない。	安藤	—			
都道府県条例 NOx 法	自動車の排気ガス中の Nox 及び PM の排出を 抑制するため、対策地域内における一定規模 以上の車両を使用する事業者の Nox・PM 排出 抑制計画作成・提出、車種規制などを定めて いる。	該当なし	安藤	—			
消防法・ 横須賀市火災 予防条例	危険物の取扱・危険物保管施設等に関するこ とを定めている。	アルミ溶解炉の設置許可申請	龍華	○			
		少量危険物貯蔵・取扱者	安藤	○			
家電リサイク ル法	家電廃棄物の収集、再商品化を推進するため、 家電の製造業者・輸入業者、小売業者、消費者 の義務等を定めている。	リサイクル券の3年間保存義 務	安藤	○			

違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反及び訴訟は、設立から現在までありません。

外部からの苦情等の受付

現在までに排出事業者やお客様、その他第3者等からの苦情等は発生しておりません。収集運搬にあたり、近隣の皆様に騒音等で迷惑が掛からないように配慮しております。また、廃棄物の種類や量等がマニフェストと相違がないかチェックし、また運搬中に廃棄物の飛散流出等を起こさない方法で収集運搬に取り組んでいます。

化学物質の使用について

化学物質の使用はありません。

平成 30 年 3 月 31 日

担当 安藤哲也

⑨代表者による全体評価と見直しの結果

弊社がエコアクション 21 の取り組みを始めて 8 年余りが経過しています。初めは不慣れな係数計算もようやく板につき仕事をしていても頭の隅に「環境」という二文字が浮かび上がるようになりました。またこの間世界では新たな取り組み SDGs も始まり環境を取り巻く世界は日々拡張しているように思われます。そんな中弊社の事業はまさに火中の栗を拾うべく取り組んでまいりましたが、世界の状況は日々変化しており特にスクラップ輸入大国お隣の中国の政策変換は弊社にとり大きな痛手となり来年はもっと顕著に表れることが予想されます。また中国とアメリカの経済戦争ともいべき状況は来年度はもっと拡大されることが予想されこれも弊社の今後の事業展開を占ううえで不確定要素となり環境目標のみならず、事業計画も立てづらい状況です。

率直に言えば来年度の目標達成は不確実性の中にあります。弊社としては、数値目標は当然大事ではありますが環境に由来した社会貢献や SDGs の積極的な取り組みなどにも力を入れてまいりたいと思います。そしてその精神を通して数値目標の達成につながれば一番いい形になると信じています。

次回の環境活動レポートは 2019 年 3 月 31 日頃の発行を予定しています。

2018 年 3 月 30 日

代表取締役 安藤哲也